

# 離島振興七〇周年記念功労者表彰式典

全離島事務局

## 主催者挨拶と御来賓祝辞

令和五年十一月一日（水）午後二時から東京都千代田区隼町のグラントアーク半蔵門「富士の間」において、「離島振興七〇周年記念功労者表彰式典」（主催…全国離島振興協議会）を開催した。

離島振興法施行および全国離島振興協議会設立七〇周年を記念した同式典は、今日までの離島振興の成果を生かしつつ、新たな時代の要請に対応した離島振興を展望し、あわせて、これまでの離島振興に多大な功績を残された関係の方々を顕彰するものである。

式典は、「功労者表彰式」「記念講演」「記念祝賀会・感謝会」の三部構成。会場は、全国各地の離島から参集された受賞者や関係者など、多くの列席者で埋め尽くされ、華やかなムードに包まれた。

主催者挨拶では、野口市太郎全離島会長（長崎県五島市長）が、昭和二八年の離島振興法制定以来、政府および国会の支援による離島振興関係施策の着実な実施と、離島住民の方々への断の努力に感謝の意を表し、多くの離島では過疎化に歯止めがかからず、高齢化もさらに進展しつつある現況を説明。「離島は、わが国の領域・排他的経済水域の保全と活用など国家的・国民的貢献をなす骨格国土としての重要な役割を担っている。国際的な海洋権益の争奪が加速化する今日、離島定住の重要性は極めて大きく、これまで以上に叡智を結集した地域戦略が求められている」と訴え、「これからも離島が確固として存在し、国益に資することのできる地域で有り続けられるよう、新しい離島振興法の下でこれまで以上に活性化に向けた努力を重ねていきたい」と誓った。

来賓祝辞では、本式典にご後援をいただいた国土交通省、総務省、農林水産省、文科科学省、厚生労働省、経済産業省、環



受賞者や関係者など多くの列席者で埋め尽くされた。



野口市太郎全離島会長の挨拶。新しい離島振興法の下、これまで以上に離島の活性化に向けて尽力していきたいと誓った。



関係8府省を代表して齊藤鉄夫国土交通大臣の代わりに祝辞を述べる國場幸之助同副大臣。

境省、内閣府の関係八府省を代表して齊藤鉄夫国土交通大臣（代理・國場幸之助同副大臣）が挨拶。離島地域における産業、教育・文化、医療・福祉、行政などの分野で多大な貢献をされた方々に深い敬意を表するとともに、「新たな離島振興法の下、国の離島振興推進の先頭に立ち、住民生活を支える取り組みはもちろん、離島のデジタル化の推進、移住・定住に向けた環境整備などを一層進めていきたい。受賞者の皆様が積み重ねてきた取り組みは、離島振興の大きな礎であり、その

上に理想の未来を築いていけるよう、島に暮らす方々や自治体、島に関心を持つ方々など力を合わせながら、離島振興に尽力していきたい」と述べた。

## 第一部 功労者表彰式

来賓紹介ののち、功労者表彰式に移った。国土交通大臣表彰式には、全国三七名の受賞者（一般住民等二六名、市町村長等



全国37名の国土交通大臣表彰受賞者を代表して國場国交副大臣から表彰状を授与された浅沼孝彦氏(左)。

一(二名)のうち三〇名が列席。受賞者を代表して浅沼孝彦氏(株式会社あさぬま商店代表/八丈町商工会顧問)が、國場国土交通副大臣より表彰状と記念品を受け取った。浅沼氏は、東京都八丈町にて家業である「あさぬま商店」の経営を通して、島内の雇用の創出、商工業の活性化や観光業の促進など八丈島の発展に尽力。また、八丈町商工会での活動を通じて町内の小規模事業者の支援を行なうなど地域づくりに多大な貢献をされた。

続く受賞者謝辞では、元長崎県五島市議会議長の中尾剛一氏が受賞者を代表して登壇。議員として取り組んだ、航路の時間を大きく短縮するジェットフォイル就航など、五島振興の成果を紹介した。また、国境離島の重要性に言及。「平成二



中尾剛一元長崎県五島市議会議長による受賞者謝辞。

八年に成立した有人国境離島法は、航路・航空路の運賃低廉化、農林水産物の輸送コストの軽減、雇用機会拡充、滞在型観光の促進など、五島を含む国境離島地域に住む者にとって無くてはならない法律である」と、同法の成立に尽力された谷川弥一衆議院議員はじめ衆参国会議員、関係機関への感謝の意を表し、「国土交通大臣表彰を受賞された皆様と同様、今後とも離島地域の発展のために微力を尽くす所存です」と結んだ。

その後、「全国離島振興協議会会長表彰」を行ない、会長特別表彰受賞者八名(一般住民等二名、市町村長等六名)を代表して山田吉彦氏(東海大学教授)に、会長表彰受賞者三七名(市町村



会長特別表彰・会長表彰受賞者を代表して挨拶する升谷 健前島根県西ノ島町長。

長等二四名・本部及び支部職員等一三名）を代表して肥後正司氏（鹿児島県十島村長）に、それぞれ野口全離島会長より表彰状と記念品が贈られた。

前島根県西ノ島町長の升谷健氏が会長特別表彰および会長表彰受賞者を代表して挨拶。IT企業の誘致、高校生までの医療費無償化などの子育て支援策、コミュニティ図書館の建設など町長として取り組んだ事例を紹介。また、全国離島振興協議会副会長として臨んだ離島振興法の改正・延長を振り返り、他の受賞者とともに今後とも離島地域の発展に尽力したいとの謝辞を述べ、表彰式は盛会のうちに幕を閉じた。

## 第二部 記念講演

午後四時からは、会場を同館内別フロア「華の間」に移し、森国久顕彰会副会長の田口宏昭氏および同理事の森純子氏による記念講演を実施した。講演のテーマはそれぞれ「離島振興法なかりせば——森国久の遺言」と「島を歩くこと、島人と出会うこと——森国久の草の根民主主義の実践」。森国久氏は、熊本県旧樋島村長や合併後の旧龍ヶ岳町長を務めるとともに、全国離島振興協議会の副会長として、天草五橋の架橋をはじめ全国の離島振興に奔走されたが、病のため、悲願の五橋の完成を見ることなく四八歳の若さで急逝された方

である。大臣表彰受賞者をはじめ関係者が会場を埋めつくし、両氏から語られる森国久氏の功績や離島に対する想い、エピソードなどの話に熱心に耳をかたむけた（記念講演の概要は四七頁参照）。

## 第三部 記念祝賀会・感謝会

午後六時から同館内「富士の間」にて、記念祝賀会・感謝会を開催した。受賞者はもちろん、盛山正仁文部科学大臣をはじめ、衆参国会議員並びに各省庁関係者、関係団体の方々などが詰めかけ大変な賑わいを見せた。

盛山文科大臣をはじめ、多数の衆参国会議員や各省庁関係者などが詰めかけ賑わいを見せた記念祝賀会・感謝会。

